



か つ き

志布志市立香月小学校



1学期を終えて

校長 中條 健一郎

「校長先生、見ていてね。逆上がりができるようになったんだよ。すごいでしょ。」「一輪車で、あそこまで行けるようになったよ。」終業式を間近に控えた昼休み、たくさんの子どもたちが、できるようになったことを見せてくれた。

終業式には、通知表である「伸びゆく姿」をもらい、それぞれに1学期を振り返り、これまでできなかったことができるようになった事を思い起こしたに違いない。



初めて小学校に入学した1年生も、授業中、真剣な眼差しで先生の話を聞き、たどたどしくもしっかりとした文字が書けるようになってきている。また、全ての学年で、暗記に挑戦し、廊下を歩きながら念仏を唱えるように繰り返し覚えている子どもの姿もあった。それぞれに、目標を持ちそれに向かっていく子どもの姿が、香月の姿となっていることをうれしく思う。この子どもの姿を裏で支えてくださった保護者の皆様に心から感謝したい。

本校では、「ふるさとを誇り、夢を育む教育」を掲げ、取り組んできた。目標をしっかりと見定め、それに向かって日々努力する。こ

の努力こそが、子どもたちの夢をうんと引き寄せてくれる。学級を挙げてみんなで目標を共有し、それに向かう姿こそが、子どもたちを大きく成長させたのではないかとうれしくなる。

担任の所見を見るとどの子にも小さな成長も見逃さないで、びっしり書いてあった。



これまでできなかったことが、できるようになった喜び。このことを担任も子どもと共有しているからだと思う。家に帰った子どもたちは、大好きな家族といっしょに「頑張ったでしょう。」「でも、2学期はこんな事が張っていききたいな。」そんな家族の会話が聞こえてきそうな1学期の終業の日であった。

吉田松陰の言葉に「**夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。**」とある。子どもたちにとって、この夏休みが、次の夢のステップであった欲しいと願っている。

保護者のみなさま方には、この1学期、並々ならぬ御協力をいただいたことに対し、心から感謝し、この夏休みが、大きな事故もなく、有意義に過ごすことができますよう職員一同願ってやまない。

学校評議員会より

28日(火)に、第1回学校評議員会を開催しました。1学期の教育活動及び児童の様子を振り返って、御意見をいただきました。「あいさつがよくできるようになってきている。」「自転車のヘルメットの着用がなされている。」等、良い評価の反面、むし歯の治療率の向上、「早寝・早起き・朝ご飯」の生活リズムの定着等について、啓発活動の推進の必要性を御指摘いただきました。改善に繋がっていきしたいと思います。



ありがとうございました。

5日(日)に、PTA施設部・おやじの会の皆様にお手伝いいただき、北側校舎及び体育館の物品移動を行いました。書架やロッカー等、大きな物品も短い時間で移動が終わり、大変助かりました。耐震工事は、8月中に終了



予定ですが、30日(日)に教室への物品搬入等、保護者の皆様の御協力をお願いします。詳細につきましては、後日連絡いたします。